

大正七年茨城縣統計書 第二編 學事ノ部

管内學事ノ状況

總 說

本年度ニ於ケル本縣管内學事ノ状況ヲ約言スレハ大体從來ノ方針ヲ踏襲シタルモ時勢ノ進歩ト時局ノ影響トニ鑑ミ教育上諸般ノ施設計畫ノ歩ヲ進メ小學教育ヨリ中等教育、師範教育、實業教育ニ至ルマテ夫々其ノ目的ニ適應シテ實績ヲ擧ケソコトヲ期シ教科ノ内容ヲ改善シ其ノ充實ヲ圖リ教授訓練体育衛生等ニ留意シ設備ニ關シテモ土地ノ状況ト地方財政トヲ參照シ校舎、校具ノ整備ヲ圖リ又優良ナル教員ノ選擇任用ニ就テハ特ニ意ヲ用ヒ各種講習會ヲ開催シテ教員ノ學力技能ヲ養ハシメ俸給ノ増額、臨時手當、住宅料ノ支給等專ラ教員優遇ノ途ヲ講シタリ又社會教育通俗教育ノ改善ヲ促サンカ爲メ圖書館、巡回書庫、展覽會等ノ事業ヲ擴張シ或ハ青年團ヲ指導獎勵シテ補習教育ノ普及ト共ニ善良ナル氣風ノ養成ニ努メ又學校ト實業界トノ連絡ニ就テモ一層其ノ關係ヲ密接ナラシメ其ノ他各般ノ事項ニ直リ着實ナル施設經營ヲナシ教育ノ基礎ヲ益々鞏固ナラシメンコトニ努メタリ以上より外東亞同文會ノ設立ニ係ル上海東亞同文書院ヘ派遣留學セシメタルモノ公費生三名ニシテ本年度ノ卒業生ハ公費生二名、準公費生一名ナリ其ノ他郡視學市學務擔任書記ヲ會同シテ學事施設上ノ事項ヲ指示及諮詢シ郡市長會議ニ於テモ學事施設上監督上ニ就キ意見ヲ徵シ或ハ協議ヲナサシメタリ學事ニ關シ令達シタルモノ縣令四件、訓令三件、告示十件ニシテ其ノ要領ヲ摘記スレハ次ノ如シ

縣 令

- 一小學校令施行規則實施規程中改正(縣令第一九號大正七年四月二十二日)
- 一全上施行期日(縣令第二四號大正七年五月十七日)
- 一中學校規則中改正(縣令第五號大正八年二月二十日)
- 一工業學校學則中改正(縣令第七號大正八年二月二十七日)

訓 令

- 一市町村義務教育國庫負擔法(訓令甲第一三號大正七年六月六日)
- 一全上施行規程(訓令甲第一四號大正六年六月六日)
- 一縣立學校長職務規程中改正(訓令甲第二四號大正八年二月二十七日)

告 示

- 一 圖書館巡回書庫開設ノ件(告示第二年六月四號
大正七年六月十日)
- 一 山梨縣市町村立小學校教員退隱料等受領手續ノ件(告示第二年八月四號
大正七年六月二十日)
- 一 小學校教員講習會要領ノ件(告示第三〇二號
大正七年七月一日)
- 一 小學校教員理化夏季講習會開催ノ件(告示第一號
大正七年八月三日)
- 一 小學校教員無試驗檢定出願者身體檢查醫指定期ノ件(告示四八號
大正七年九月六日)
- 一 東亞同文書院留學生ニ關スル規程中改正ノ件(告示三十一號
大正七年十月五日)
- 一 全上準公費生ニ關スル規程中改正ノ件(告示二十七號
大正五年四月三十日)
- 一 御城實科高等女學校授業料改定ノ件(告示二十二號
大正六年四月三日)
- 一 獎學資金管理規則制定ノ件(告示二十七號
大正八年六月三日)
- 一 太田實科高等女學校授業料改定ノ件(告示二十一號
大正八年三月三十一日)

學齡兒童

學齡兒童總數二十三萬九千九十七人内男十一萬九千百三十九人女十一萬二千八百五十八人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ男二千六百二十六人女四千四百人ノ増加ナリ而シテ就學兒童總數十九萬五千五百三十六人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ男二千二百九十八人女三千七百十五人ノ増加ナリ而シテ就學ノ始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ハ男九十九人女九十七人五分三厘男女平均九十八人二分九厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ男ニ於テ一分八厘女ニ於テ八分八厘男女平均ニ於テ五分二厘孰モ減少シタルハ定期人口靜態調査ト連繫シテ根本的ニ調査ヲ行ハシメタル結果多數ノ不就學兒童調査済ヲ發見シタルニ依レリ就學督勵ニ關シテハ學齡兒童保護會ヲ活動セシメ又學用品共同購入ノ方法ニヨリ廉價ナルモノヲ使用セシムルモノ多ク貧困兒童ニ對シテハ特殊ノ方法ニヨリ教授ヲナサシメタリ就學猶豫又ハ免除ニ關スル事由ハ孰モ疾患多數ニシテ貧困者ハ極メテ少數ナリ學齡兒童調査ニ關シテ特ニ施設シタルモノナク縣ニ於テハ年々郡市役所事務檢閱ノ際本件ハ教育行政上重要ノ參考資料タルヲ以テ調査ノ正確ヲ期スルハ勿論大正七年十二月末ハ定期人口靜態調査時期ニ該當スルヲ以テ右調査ト連繫シテ學齡兒童ノ調査ヲ實際ト一致セシムル様篤ト注意ヲ與ヘ置キタリ郡ニ於テハ郡役所或ハ部内數ヶ所ニ町村主任者學校教員ヲ招集シ學齡薄其ノ他ノ公簿ト實際トノ一一致ヲ圖ラン爲ニ照合ヲナサシメ又ハ調査方法ノ實地指導ヲ爲メ縣ヨリ主任者ノ派遣ヲ請ヒタルモノアリテ各郡市專ラ本調査ニ努力シ孰モ根本的ニ調査ヲナシタリ學齡簿ハ年々郡觀學郡書記ヲシテ嚴重ニ檢閱ヲ行ハシメタリ加之ナラス本年ハ前項ノ理由ニヨリ整理ニ努メシメタレハ各町村共署ホ整理シ居ルモノト認メラル

小學校

市町村立尋常小學校二百十校分教場六校尋常高等小學校三百五十七校尋常科分

教場九十九校、高等小學校三校計六百七十五校ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ一校ヲ増加セリ而シテ學校ノ種類ニヨリ其ノ増減ヲ比較スレハ尋常小學校ニ在リテハ本校六校ヲ減少シ尋常高等小學校ニ在リテハ本校六校、分教場四校ヲ増加シ高等小學校ニ在リテハ三校ヲ減少シタルニヨル學校設備ニ於テハ多年來ヨリ督勵ノ結果漸次整備ノ域ニ達セントシ年度内ノ認可ニ係ルモノ新築九、增築三十六、改築一ニシテ其ノ他校舎ノ移轉、校地ノ擴張ヲナシタルモノ少ナカラス市町村立小學校ノ學級ハ尋常科三千三百三、高等科五百五十九、同補習科三、計五百六十二、其ノ總計三千八百六十五學級ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ百十七學級ヲ増加シタリ而シテ其ノ編制タル尋常科ハ單級ノモノヨリ二十九學級ノモノニ至リ其ノ内最モ多キハ六學級ニシテ三學級ノモノ之ニ亞キ高等科ハ單級ノモノヨリ九學級ノモノニ至ル其ノ内最モ多キハ單級ニシテ二學級ノモノ之ニ亞ケリ又學級制限超過編制チナスモノ尋常小學校十九學級ノモノ、二十八學級ノモノ各一校ニシテ尋常高等小學校十九學級ノモノ、二十學級ノモノ、二十三學級ノモノ各二校、二十二學級ノモノ、二十六學級ノモノ、二十七學級ノモノ、三十二學級ノモノ、三十四學級ノモノ各一校アリ

二部教授ヲ施行スルモノハ尋常高等小學校(尋常科)三校ニシテ何レモ一部ノ兒童ヲ二部ニ分チテ教授スルモノニシテ概ネ設備上ノ都合ニヨルモノナリ

學校配置ノ狀況ハ概ネ適當ノ位置ニ在リ而シテ特ニ兒童通學上困難ナル地方ニハ分教場ヲ設置セルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メス

補習科ノ設ケアルモノハ尋常高等小學校三校ニシテ前年度ニ比シ二校減シタルハ廢止シタルニヨル

加設科目ニ就キテハ尋常科ニ手工ヲ加設スルモノ二百四十一校、高等科ニ手工其ノ他實業科目ヲ選定スルモノ三百六十校ニシテ何レモ內容ノ改善ニ努メツハアリ

授業料ハ尋常科ニアリテハ徵收セシメサル方針ナレトモ市町村財政上真ニ已ムナ得サル爲メ之ヲ徵收スルモノ尋常小學校四校、尋常高等小學校(尋常科)三校計七校ナレトモ貧困者ニ對シテハ相當減免ノ法ヲ設クルヲ以テ就學上格別ノ支障ヲ認メス

市町村立小學校本科正教員ヲ各學級ニ對照スレハ尋常科ニ千二十八人、高等科及同補習科ニ三十九人ノ不足ニ當レリ之レ其ノ供給ニ關シテハ多年企劃スル所アルモ充實ノ期ハ前途尚ホ遠クシテ好結果ヲ見ルニ至ラサルハ甚タ遺憾ノ次第ニシテ准教員若ハ代用教員ヲ以テ其ノ不足ヲ補充シ居ルノ狀態ニシテ目下ノ狀況已ムナ得サル所ナリ又教員ノ任免ニ就テハ特ニ之ヲ慎重ニシ可成勤績ヲ獎勵シ一面ニハ俸給、加俸、住宅ノ施設、住宅料ノ支給増額等經濟ノ許ス限り優遇ノ方法ヲ講シタリ

幼稚園

幼稚園ハ公立四、私立七計十一ニシテ前年度ニ比シニ増加シタリ而シテ其ノ設備ハ戯水備ハレリ幼児男三百九十一人女三百九十三人計七百八十四人ヲ收容シ保姆二十二人外ニ兼務三人ニテ之ヲ保育シ其ノ成績漸次良好ニ向ヒツヽアリ而シテ本年度保育満期者男二百三十五人女二百三十三人計四百六十八人ナリ

盲哑学校

盲哑学校ハ私立一校ニシテ其ノ設備ハ略ボ備ハレリ生徒ハ盲生十三人、聾生十四人ニシテ其ノ失官原因ハ盲生結膜炎一人、角膜炎四人、遺傳梅毒二人、紅彩炎二人、網膜炎二人、綠内症一人、淋毒一人ナリ聾生性來九人、血族結婚二人、腦膜炎一人、脳振盪一人、驚風一人ナリ

師範学校

師範学校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ハ署ボ備ハレリ

有資格教員ノ教員免許状ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ(表中×ハ兼務者)

種 別	師範学校	女 子 師 範 学 校			計
		男	女	計	
帝國大學卒業ノ者	—	—	1	—	1
高等師範学校卒業	11	X	3 1	—	—
女子高等師範学校卒業	—	—	—	4	4
農業教員養成所卒業	1	—	—	—	—
音楽学校卒業	1	—	—	1	1
試験検定ノ者	X 7 1	X	2 3	— — X	2 3
計	20 X 1	X	6 4	5 X	11 4

生徒訓育ニ就テハ大体從來ノ方法ヲ繼承シ教育者タルノ性格養成ニ努メ且ツ体育ノ獎勵ニ一層ノ注意ヲ用ヰタリ

生徒ノ學業ニ就テハ訓育ノ趣旨其ノ徹底ヲ見着實ニシテ自學自習其ノ屬チナシ從テ學業モ漸次進歩シツヽアリ

生徒修學旅行ハ地理、歴史、理化、博物、文學、美術、工藝等ノ實地研究ノ目的ヲ以テ師範學校ニ於テハ京阪、伊勢、日光、東京、湘南地方ヘ旅行ヲナシタリ女子師範學校ニ於テハ湘南、木曾、京阪、伊勢地方ヘ旅行ヲナシ孰モ豫定ノ目的ヲ達シ生徒心身ノ訓練上少ナカラサル効果ヲ收メタリ

本科入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ

種別	師範學校		女子師範學校	
	第一部	第二部	第一部	第二部
農業	51	19	16	6
商業	1	—	2	1
工業	—	—	2	—
公務及自由業	16	8	10	8
其他	2	1	3	2
計	70	28	33	17

本年度卒業者ノ數バ本科第一部八十六人、第二部四十三人ニシテ女子師範學校第一部卒業者一名ヲ除ク外ハ悉皆年度内ニ縣下小學校ニ就職シタリ。

附屬小學校ハ二校ニシテ其ノ設備ハ畧ホ備ハレリ兒童教育ニ關シテハ從來ノ主義方針ヲ繼續シ教授ニ於テハ特ニ兒童實力ノ養成ヲ主眼トシ智識技能ヲ確實ニ學習セシメ個性尊重主義自學補導主義ニ依レル教授ニ對シ一層ノ研究工夫ヲ重ね且ツ体育ニ一層注意シ學校ト家庭トノ連絡ヲ圖リ諸般ノ成績漸次良好トナリ。

師範學校ニハ尋常小學校本科正教員養成ノ爲ニ講習科ヲ設ケ其ノ講習期間ハ二ヶ年ニシテ講習員四十八名アリ内修了シタル者二十四名ナリ。

中學校

中學校ハ縣立六校ニシテ其ノ設備ハ前年度ト大差ナシ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ(表中、×ハ兼務ノ者)

種別	水戸	太田	土浦	龍ヶ崎	下妻	水海道	計
帝國大學卒業	2	X	1	—	1	1	—
高等師範學校卒業	—	—	2	4	6	X	6
臨時教員養成所卒業	—	—	—	—	—	1	1
高等中學校卒業	—	—	1	—	—	—	—
専門學校卒業	1	—	4	4	3	4	3
其他ノ學校卒業	1	—	—	—	1	—	1
経歴ニ依リ無試験検定ノ者	1	—	—	—	—	—	1
試験検定ノ者	18	7	6	5	4	5	45
計	23	X	15 1	14	16	X 1	16 1
							99 3

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ニヨリ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛健ノ氣風ヲ養ヒ道

徳ノ實踐ヲ督勵シ修身科ニアリテハ世界變局ニ於ケル實例ヲ引キ時代思想ニ對スル學校ノ方向ヲ意ラシメサランコトニ留意シ一層体力ノ增進ニ努メタリ生徒ノ學業ニ關シテハ教授ノ改善進歩ヲ圖リ且ツ日課ノ豫習復習ヲ督勵シ平素ノ勉學ヲ勵奨シ學力ノ增進ヲ圖リツヽアレハ生徒ノ學力ハ一般ニ向上シ相當ノ進境ニアルモノト認ム

生徒修學旅行ニ關シテハ地理、歴史等實地研究ノ目的ヲ以テ東京、湘南、京阪、楠木地方ヘ旅行ヲナシタルモノ五校ニシテ孰モ相當ノ効果ヲ得タリ

本年度入學志願者ノ數ハ本科千五百三十人、補習科十八人計千五百四十八人ニシテ内入學ヲ許可セシ者本科七百二十八人、補習科十八人ナリ

本年度入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ(×印行ハ第二學年上ニ係ル者)

種別	水戸	太田	土浦	龍ヶ崎	下妻	水海道	計
農業	61 × 1	57 1	86 9	66 3	70 5	68 2	408 21
商業	26 × 1	20	33	20 3	16 1	13	128 5
工業	9	2	—	—	—	4	15
公務及自由業	77 × 8	17 1	14 6	11	20 3	12 5	151 23
其他	14 × 3	4	4	1	3 1	3	29 4
計	187 × 13	100 2	137 15	98 6	109 10	100 7	731 53

備考 太田、下妻ノ公務及自由業ニ係ルモノ、内ニハ第一學年ニ轉入ニ係ルモノ各一ヲ含ム土浦ノ農業ニ係ルモノ、内一人全上

水戸中學校補習科ニ係ルモノ農業八、商業一、公務及自由業六、工業一、其他二計一八ナリ

補習科ノ設ケアル學校ハ一校ニシテ入學者ハ概モ各種上級學校入學受驗準備ニアレトモ本年ハ其ノ出席頗ル良好ナリ然レトモ上級學校入學試驗開始後ハ欠席者多ク遂ニ二學期開始前後ニ於テ悉ク中途退學チナスノ狀況ナリ

高等女學校

高等女學校ハ縣立二校、實科高等女學校ハ郡立一校、町立二校、町村學校組合立一校計四校ニシテ其ノ設備ハ漸々逐ヒ完備ニ近ツキツヽアリ水戸高等女學校ハ昨年本校舍焼失ニ付寄宿舎ノ一部公會堂、女子師範學校ノ一部ヲ假教室トシ生徒ヲ收容シ教授ヲナシ其後設備ノ完成ニ努メタレハ大體教授上ノ不便ヲ認メス

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ(表中※ハ兼務×ハ女子)

種 別	高等女學校		實科高等女學校				計
	水 戸	土 浦	真 壁	太 田	石 岡	御 城	
帝 國 大 學 卒 業	—	*	1	—	—	—	—
高 等 師 範 學 校 卒 業	3	2	—	—	—	—	5
女 子 高 等 師 範 學 校 卒 業	1	—	—	—	—	—	1
音 樂 學 校 卒 業	×	4	×	3	—	—	—
其 他 の 學 校 卒 業	—	—	—	—	—	—	—
試 驗 檢 定 の 者	—	—	—	—	—	—	—
計	9	6	—	—	—	—	17
	*	1	—	—	—	—	2
	×	9	—	—	—	—	28
	×	10	—	—	—	—	—

生徒訓育ニ關シテハ別段ノ新施設ナキモ從來ノ方針ニヨリ一層國民道德ノ振興ニ力メ婦德ノ涵養ニ留意シ實際的智識技能ヲ修得スルヲ要旨トシ且ツ教授法ノ改善ニ努メ學校ト家庭トノ連絡ニ注意シタレハ生徒ノ學業ハ一般ニ良好トナリ

本年度入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ(表中×ハ第二學年以上ニ係ルモノ)

種 別	水戸高等女學校		土浦高等女學校		實科高等女學校				計
	本 科	實 科	本 科	實 科	真 壁	太 田	石 岡	御 城	
農 業	34	16	48	20	33	27	26	38	242
商 業	1	—	2	—	—	—	—	—	4
工 業	47	12	26	6	10	11	17	11	140
公 務 及 自 由 業	1	—	—	—	—	—	—	—	1
其 他	4	1	2	—	—	3	1	—	11
計	50	6	17	3	4	5	4	5	94
	14	—	1	—	—	—	—	—	15
	16	5	5	—	3	5	2	—	36
	5	—	—	—	—	—	—	—	5
計	151	40	98	29	50	51	50	54	523
	×	21	—	—	—	—	—	—	25

備考 水戸、土浦高等女學校公務及自由業本科ニ係ルモノ各一人ハ第一學年ヘ轉學シタルモノナシム又土浦ノ商業ニハ本科ニ係ルモノ第一學年一人全上

實業學校

甲種ノ農學校ハ縣立一校ニシテ本年度ヨリ養蠶科ヲ設置シ其ノ設備ハ前年度ト大差ナキモ桑園及實習用地トシテ畠一町七反五畝二十五歩ヲ購入シタルモ尙少生徒數ニ對スル實習地狹隘ナル爲メ水田三反步、畠六反三畝十三歩ヲ借地セリ。

乙種ノ農學校ハ郡立四校、町立一校、村立四校、町村組合立一校、町村學校組合立一校計十一校ニシテ郡立、村立各一校増シタルハ組合立ニ係ルモノナシ組織變更シタルモノニシテ其ノ設備ニ就テハ特記スヘキヨノナシ

甲種農學校ノ教員ハ有資格者十九人無資格者三人アリ有資格者ノ資格別ハ次ノ如シ

帝國大學分科大學卒業ノ者一人、文部大臣ノ指定シタル者十六人、文部大臣ノ認可シタル者二人ナリ

乙種ノ農學校教員ハ有資格者五十一人(内女六人)外ニ兼務七人、無資格者六人(内女一人)ナムアリ有資格教員ノ資格別ハ次ノ如シ(表中×ハ兼務、※ハ女子ナリ)

種 別	西茨城 郡立 全	稻敷 新治 全	眞壁 村立 全	菅谷 立 全	小瀬 組合立 全	大子 立 全	鉢田 村立 全	奥野 立 全	岡田 村立 全	結城 町立 全	計	
明治四十年文部省告示二四八號第一該當者	×	1	1	3	3	1	1	2	1	—	1	12
全 上第二該當者	4	4	1	6	3	1	3	1	2	2	3	32
文部大臣ノ認可シタル者	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	1
計	4	5	9	6	3	4	3	3	2	2	4	45
	×	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
	※	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6

生徒訓育ニ就テハ各校多少ノ差異ナキニアラサレトモ農業家ニ適スル品性ノ陶冶ニ努メ且ツ實習ニ重キナ置キ勞働ヲ専フノ習慣ヲ養成シツアリ生徒ノ學業ハ漸次良好ニ向ヘツアリ

生徒實習及修學旅行ニ就テハ各校農業ニ關スル相當ノ實習設備ヲ有シ學理ヲ實地ニ應用セシメ專ラ技能ノ發達ヲ圖レリ修學旅行ハ農業ニ關スル施設經營並實地見學ノ爲メ管内、東京、千葉、神奈川、栃木地方へ行ヒタルモノ九校ニシテ孰モ相當ノ效果ヲ收メタリ

學校ト實業界トノ關係ハ絶ヘス諸種ノ機會ヲ利用シテ相互ノ接近ヲ圖リツアリ

甲種商業學校ハ縣立一校、乙種商業學校ハ町立一校ニシテ其ノ設備ハ特記スヘキモノナシ

甲種商業學校ノ教員ハ有資格者九人、外ニ兼務一人、無資格二人アリ有資格者ノ資格別ヲ調査スレハ帝國大學分科大學卒業ノ者一人、兼務一人、文部大臣ノ指定シタル者七人、文部大臣ノ認可シタル者一人ナリ

乙種商業學校ハ有資格者四人、兼務一人、無資格者一人アリ有資格者ノ資格別ヲ調査スレハ明治四十年文部省告示二四八號第一該當者二人、兼務一人、全上第二該當者二人ナリ

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ノ養成ニ重キナ置キ勵勞ニ耐フルノ習慣養成ニ意ヲ用ヒタリ生徒ノ學業ハ一般ニ良好ニ向ヘリ

生徒實習及修學旅行ニ關シテハ甲種ノ學校ニアリテハ第四學年生徒ニ同業法ト模擬實踐トヲ併課シ實際的教材ニヨリ商業ノ實務ニ適切ナル事項ノ練習ヲナシメタリ修學旅行ハ商工業狀況觀察ノ爲メ東京、關西、管内各地へ旅行ヲナシ實地

見學上利スル所アリタリ

學校ト實業界トノ關係ニ就テハ商業會議所ト連絡ヲ保チ地方當業者ト意見ヲ交換シ相互ノ利益ヲ増進スルコトニ努メタリ

工業學校ハ縣立一校ニシテ其ノ設備ハ工業界ノ進歩ニ伴ヘ漸次整備ヲ圖リツ、アリ

教員ハ有資格者九人、兼務一人、無資格者四人アリ。有資格者ノ資格別ヲ調査スレハ帝國大學選科修了ノ者一人、文部大臣ノ指定シタル者七人、兼務一人、文部大臣ノ認可シタル者一人ナリ。

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ工業家ニ適スル品性ノ養成ニ努メタリ。生徒ノ學業ハ一般ニ進歩シツ、アリ。

生徒實習及修學旅行ニ關シテハ工業界ノ状勢ニ鑑ミ專門的ニ練習セシメ專ラ技能ノ發達ヲ圓レリ。修學旅行ハ會社、工場、試驗場、學校等ノ實地作業ノ状況ヲ觀察研究ノ爲メ管内、宮城、福島、栃木、京阪、名古屋、三重地方ヘ旅行シ相當ノ效果ヲ收メタリ。學校ト實業界トノ關係ニ就テハ地方當業者ト連絡ヲ保チ相互ノ利益ヲ圖リタレハ一層密接トナレリ。

乙種ノ水產學校ハ村立一校ニシテ其ノ設備ニ就テ特記スヘキモノナシ。技藝學校ハ町立五校ニシテ前年ニ比シ一校増シタル其ノ設備ハ未タ十分ナラサルモノアリ。依テ漸次完備ヲ圖ラシメツ、アリ。

教員ノ數ハ有資格者二十一人、兼務三人、無資格者一人アリ。有資格者ノ資格別ヲ調査スレハ次ノ如シ(表中×ハ兼務※ハ女子)

種 别	若 水產學校	松 潮來女子 技藝學校	龍 全	ヶ 崎 全	結 全	城 古 全	河 古 全	大 全	子	計
明治四十年文部省告示二四八號第一該當者	×	1	*	1	*	1	*	3	*	2
全 上 第 二 該當者		3	×	1	*	1	×	1	*	1
計	×	3	×	1	*	2	×	1	*	1

生徒訓育ニ關シテハ各校共從來ノ方針ヲ繼承シテ指導獎勵ニ努メタリ。生徒ノ學業ハ漸次良好ニ向ヘリ。

生徒實習及修學旅行ニ關シテハ前年度ト大差ナク修學旅行ハ千葉、栃木地方ヘ行ヒタルモノニ校ニシテ相當ノ效果ヲ得タリ。

學校ト實業界トノ關係ハ一般當業者トノ連絡ヲ保チ夫々相當ノ方法ヲ講シ之カ密接ヲ圖リツ、アリ。

實業補習學校ハ總數四百六十九校(内授業休止)ニシテ農業四百四十一校、水產四校、商業十二校、其他十二校ナリ。之ヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ十五校ヲ增シタル。孰モ概ね市町村立小學校ニ附設シ教員ノ大部分ハ小學校ヨリ兼務シ農閑期又ハ

夜間ニ於ケル季節教授ニシテ普通教育ノ補習ヲナスト共ニ斯業ニ適切ナル教授ヲ施セリ

各種學校

各種學校ハ私立四十六校(内授業休止)ニシテ授業休止中ノモノニハ殆ント廢校同様ノモノアリ其ノ設備ハ前年度ト大差ナク整備セルモノハ少數ナレトモ相當教員ヲ有シ之カ教授ノ任ニ當リツ、アレハ地方青年子女ノ受クル利益少ナカラサルヘシ學校維持ノ方法ハ授業料其他ノ收入及設立者ノ負擔金等ニヨルモノナリ

學校衛生

學校清潔法施行ニ關シテハ教育上最モ重要ノモノナレハ法規ノ定ムル所ニヨリ嚴重ニ厲行セシメ一方ニハ毎年定期ニ生徒、兒童ノ身體検査ヲ施行セシメ其ノ成績ニ留意シ學校衛生ノ改善進歩ニ努メタリ

公立學校ニ學校醫ヲ設置シタルモノ小學校五百三校、師範學校二校、中學校六校、高等女學校六校、實業學校二十校、計五百三十七校ニシテ兼務ノ者多ク其ノ實人員ハ二百九十三人ナリ而シテ學校視察ノ狀況ハ中等程度ノ學校ニアリテハ佳ナルモ他ハ概シテ良好ナリト云フチ得ス

學校醫ノ實人員ヲ資格ニ依リ區別スレハ次ノ如シ

帝國大學醫科大學醫學科卒業ノ者	六
-----------------	---

元東京大學醫學部醫科本科又ハ別科卒業ノ者	七
----------------------	---

官立醫學專門學校醫科及元高等學校並元高等中學校ノ醫學部	
-----------------------------	--

醫科卒業ノ者	八二
--------	----

大阪府、京都府、愛知縣醫學校及元府縣立甲種醫學校卒業ノ者	一三
------------------------------	----

東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了ノ者	四
-----------------------	---

其他醫衛開業免狀ヲ有スル者	一八一
---------------	-----

計	二九三
---	-----

學校衛生ニ關シテハ常ニ嚴重ナル注意ヲ拂ヒ体育上ノ設備モ漸次整頓セラレツ、アルニヨリ生徒及兒童ノ健康狀態ハ概シテ良好ナリ

傳染病豫防及消毒ニ關シテハ常ニ諸般ノ注意ヲ怠ラス夏期其他衛生上特に注意ヲ要スル場合ニハ生徒及兒童ニ講話ヲナシ之カ豫防ニ努メタリ

本年度ニ於テハ水海道中學校ニ赤痢患者三名ヲ出シタルニヨリ機ヲ失セス適當ノ處置ヲ採リ校ノ内外ニ大消毒ヲ行ヒ豫防ニ努メタレハ他ニ蔓延セスシテ患者ハ全治シタリ又昨年十月下旬ヨリ流行性感胃縣下各地ニ傳播セシモノ、如ク一時病勢最モ猖獗、チ極メタレハ已ムナク女子師範學校、水戸高等女學校其他縣下ノ各學校ニ於テモ二日乃至十二日間休校シ夫々適當ナル方法ヲ講シタルエ職員、生徒、兒童ニテ約百三十名程ノ死亡者ヲ出シタルハ誠ニ遺憾ノ次第ナリ

學校園、學林及樹栽

學校園ハ各學校ニ於テハ校舎ノ周圍ニ小規模ノ教材園ヲ設置スルモノ多ク之カ完備ヲ督勵シツハアリ學林ハ山間部ニ於テ設置シツハアルモノハ其ノ成績可ナルモ他ハ未タ見ルヘキモノ少ナシ而シテ學校園、學林ノ植栽及手入ハ生徒兒童ヲシテ之ニ當ラシメタリ

教員検定及免許狀授與

教員検定試験ハ毎年一回之ヲ行ヒ無試験検定ハ隨時之ヲ施行ス而シテ年度内ノ検定人員ノ總數ハ六百八十八人ニシテ合格者四百八十四人ナリ是等合格者ニハ悉ク免許狀ヲ授與シ其他師範學校卒業ニ依ル者百二十九人ニシテ其免許狀授與總員ハ六百十三人ナリ

教員講習會

講習會ハ縣ニ於テ開催セシモノ小學校教員ニ對シ理化一回、体操一回、農業一回此ノ延日數二十四日講習員二百四十一人ナリ縣教育會ニ於テハ小學校教員ニ對シ憲法一回、理科、數學一回此ノ延日數十二日講習員三百四十五人ナリ各都市教育會ニ於テハ小學校教員ニ對シ修身、教育、地理、歷史、理科及實驗、算術、心理、農業、法制、經濟、唱歌、体操、家事、作法、割烹等ニシテ此ノ延日數四十回日數二百二十一日、人員四千三百七十九人ナリ又青年團指導者ニ對シ一回此ノ日數七日青年團指導ニ關シル諸項ニ就テ講習ヲナシ此人員六十人ナリ郡ニ於テ小學校教員ニ對シ修身一回、町ニ於テ体操一回此ノ延日數十日ニシテ講習員百六十四人ナリ孰モ相當ノ効果ヲ收メタリ

教科用圖書

教科用圖書ハ中等程度ノ學校ニ於テ教科書ノ一部ヲ變更シタルモ供給狀況ハ概シテ良好ナリ小學校ニ於テハ圖書ノ種類ニヨリ學年ノ始ニ於テ多少不足ヲ告ケタル所アルモ其後供給ニ努メタレバ格別教授上ニ支障ヲ來サリキ

圖書館

圖書館ハ公立八、私立六計十四ニシテ其ノ設備ハ縣立ノ分ハ整備セルモ其他ハ不完全タルヲ免レス

縣立圖書館ノ藏書ハ七萬六千四百五十一冊ニシテ本年度開館日數三百十三日此ノ閱覽人員五萬千二百七十三人、一日平均百六十三人八分ニ當レリ又館外携出閱覽者ノ數ハ四萬六千六百六十三人ナリ巡回書庫ヲ縣下各郡ニ開設シ遠隔ノ者ノ便利ヲ圖レリ

本年度閲覧ニ係ル圖書ノ部類ハ「美術、諸藝、遊戲」ニ係ルモノ最モ多數ヲ占メ文學ニ
係ルモノ之ニ次キ以下雜誌、「理學、工學、醫學」、「歴史、傳記、地理、紀行」、「書目、隨筆、叢書、辭
書」、「教育、社會、家庭、軍事、經濟」、「產業、商業、工業」順序ニシテ「法律、政治、統計」、「宗教等」ナリ
書山、「教育、社會、家庭、軍事、經濟」、「產業、商業、工業」順序ニシテ「法律、政治、統計」、「宗教等」ナリ
閲覧人ノ種別ハ學校生徒、兒童多數ヲ占メ官公吏、教員、實業者、軍人等ナリ
公私立圖書館ノ藏書ハ一萬三千九百六十四冊ニシテ閲覧人ノ總數ハ一萬七千六
百六十六人ニシテ一館一日平均約五人ニ當レリ而シテ閲覧人ハ學校教員、生徒、兒童、青年等ナリ
巡同圖書館ハ公立六、私立七計十三ニシテ其ノ藏書ハ一萬八千七百二十一冊ニシ
テ此ノ閲覧人ノ總數ハ八萬三千五百三十一人ナリ

大禮記念教育參考館

縣下教育ノ普及改善ニ資益スル目的ヲ以テ設置シタルモノニシテ其ノ設備ハ略
示備ハシリ

陳列品ハ總數六千七百六十二點ニシテ内本館所有ニ係ルモノ八百五十點、保管委
託二百四十一點、出品借入五千六百七十一點ニシテ購入ノ主ナルモノハ各種製造
順序標本、玩具及小學校用理科生徒實驗器械器具ニシテ出品物ハ本縣歴史ニ關ス
ル書畫、衣服、砲劍ニ係ルモノハ保管委託ハ御食卓衣冠國寶寫真、特別保護建物ニ係ル
モノ、借入品ハ光圏鄉使用金綾ノ羽絹、狩衣、笏、自筆祝詞、東湖ノ愛瓢、竹垣代官ニ關ス
ル文書、徳川侯爵家、縣立圖書館並ニ神社佛閣ノ珍藏品等ナリ
閲覧人ハ總數四萬九千七百八十人ナリト雖モ古今武器、兒童成績品並教育的玩具
ノ展覽會ヲ十五日間開催シタルニヨリ其ノ閲覧人一萬千三百四十二人ヲ扣除ス
ルトキハ二萬八千四百三十一人ニシテ其ノ種別ハ青年會、婦女會、學校等ノ團體觀
覽頗ル多カリキ

教育品展覽會

教育參考館ニ於テハ古今武器展覽會ヲ十日間、兒童成績品教育的玩具展覽會ヲ五
日間開催セリ其ノ出品物ハ縣下各學校ノ生徒、兒童ノ成績品、社會教育並參考品等
總數三千九百五十四點ニシテ觀覽人ハ教育關係者ヲ主トシ總數二萬千三百四十
九人ニ達シ團體觀覽モ屢々アリテ觀覽者場外ニ溢ルハノ盛況ヲ呈シタリ又郡、町、
村ニ於テモ二日乃至七日兒童ノ成績品、教授用參考品、教員ノ意匠考案ニ成レル物
品等ヲ陳列シテ公衆ノ觀覽ニ供シ學校ト家庭トノ連絡向學心ノ振興ニ努メシコ
ト少ナカラスシテ教育上ニ多少ノ裨益ヲ與ヘタルモノト信ス

教育會

縣教育會ハ縣下各都市教育會ノ十五團體ヨリ成リ其ノ事業ノ重ナルモノハ尋常
小學校准教員及裁縫專科正教員養成ノ爲メ常設講習會ヲ開催シ又團體教育視察

員十一名ヲ選抜シ師範學校教諭ヲ指導員トシテ管外ニ派遣シ其他教員ノ講習、通俗講話、教育調査會ノ開催、雑誌ノ發刊、小學校農業教科書、青年講習國語讀本、同算術教科書、本縣地圖等ヲ刊行シ新ニ女子補習讀本及兒童用本縣地圖ヲ發行シ本縣教育上貢獻スル所妙ナカラス。

都市町村教育會ハ部内ノ教育關係者、有志ヲ以テ組織シ事業ノ重ナルモノハ教員ノ講習、講話會、學事觀察、學齡兒童ノ保護等ニシテ地方教育ニ貢獻シツカアリ。

青 年 團 体

青年團体ハ縣下各市町村トモ之カ設置ヲ見サルナク其ノ會員數約七萬五百餘人達ニセリ其ノ施設漸次整備セントス是等青年團体ノ施設事業ノ概要ヲ舉ケレハ補習教育ノ普及、風紀ノ改善、体育ノ獎勵、公共事業ノ助成、基本財產ノ造成、其他講話會、處女會等ニシテ地方改發ニ盡ス所妙ナカラス。

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ノ現在數ハ社團法人七、財團法人二計九ナリ。

縣郡會及市町村會

縣郡市町村會トモ教育費ニ關シテハ概シテ慎重ニ審議シ能ク原案ニ協賛シ漫ニ削減ヲ加フルコトナク穩當ノ決議ヲナスノ状況ナリ。

學事關係職員及學事觀察

本縣學事係員ハ視學官一人、縣視學二人、屬四人、外兼務一人、雇四人計十二人ナリ。郡市學務係員ハ郡視學十四人、郡市書記十九人(内兼務四人)雇一人ナリ。

本年度學事觀察ハ視學官、縣視學ハ專ラ學校ノ設備、教授、訓練、管理ノ良否並ニ教育事務ノ整否ヲ觀察シ郡市ニ於テハ專任書記ヲシテ事務ニ當ラシメ郡視學ハ專ラ學校觀察ニ從事セリ。

各市町村ニ於テハ三名乃至八名ノ學務委員ヲ置キ夫々市町村ノ教育事務ニ當ラシメタリ。

學 事 奨 劵

學事獎勵ヲナシタルモノヲ舉クレハ縣ニ於テハ實科高等女學校、實業學校、盲啞學校、縣教育會、教員互助會等ニ對スル補助金交付、小學校教員住宅費補助、巡回圖書館補助、就學獎勵費補助等ニシテ前年度ト同様獎勵ヲ意ラス又郡市町村ニ於テモ各種ノ方法ヲ設ケ就學及出席ヲ督勵シ優良兒童ノ表彰其他貧困兒童ニ學用品ノ給與又ハ貸與ヲナシタリ。

將來學事施設上須要ノ件

- 一、小學校本科正教員ノ充實ヲ圖ルコト
- 一、就學事務ノ改善ヲ圖リ義務教育ノ普及ヲ期スルコト
- 一、町村教育會、學齡兒童保護會、學務委員ノ活動ヲ圖ルコト
- 一、教員住宅ノ設置及教員ノ部落分住ヲ獎勵スルコト
- 一、學校衛生思想ノ普及ニ努メ生徒兒童ノ体育ヲ發達セシムルコト
- 一、社會教育、通俗教育ノ振興方法ヲ講シ民衆思想ノ善導ニ努ムルコト
- 一、學校基本財產ノ増殖ヲ圖ルコト

公學費及公學資產

本年度公學費支出總額二百六十萬二千二百二圓ニシテ內縣ニ屬スルモノ四十一萬九千八百八圓、郡ニ屬スルモノ五萬二千百四十六圓、市ニ屬スルモノ四萬七千八百七十九圓、町村ニ屬スルモノ二百八萬二千三百六十九圓ナリ之ヲ前年度ニ比スレハ總額ニ於テ六十二萬四千六百五十三圓ヲ增加セリ又公學收入總額ハ五十九萬五千三十八圓ニシテ內縣ニ屬スルモノ十萬七千百七十九圓、郡ニ屬スルモノ一万五千九百九十八圓、市ニ屬スルモノ一萬二千二百九十三圓、町村ニ屬スルモノ四十五萬九千五百六十八圓ナリ之ヲ前年度ニ比スレハ總收入ニ於テ二十九萬九千七百六十六圓ヲ增加セリ之ヲ要スルニ公學費ニ於テ斯ノ如キ増額ヲ來セシハ市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ市町村ニ對シ交付金アリタル爲教員ノ增俸及教育施設ノ改善ニ充當シタルト物價騰貴ニ因スル自然的膨張ノ結果ナリ又收入ニ於ケル増額モ前段法律ノ施行ニ依ル交付金其ノ大部分ヲ占ム而シテ以上ノ收入ハ孰モ支出ノ幾分ヲ補フニ過キスシテ其ノ不足額ハ縣、郡、市、町、村ノ負擔ニ係ルモノナリ

學校基本財產ハ金額師範學校ニ一千四百四十二圓、圖書館ニ八十五圓、市立學校ニ三千百九十一圓、町村立學校ニ四十一萬四千五百十一圓、計四十一萬九千二百二十九圓土地二百三十五萬二千四百二十六坪ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ金額ニ於テ三萬三千百六十六圓ヲ增加シ土地ハ町村立ノモノ、ミニシテ十二萬四千五百三十坪ヲ減少シ外ニ積立金二萬五千四百八十三圓アリ而シテ是等ノ金額ハ公債證書又ハ有價證券ヲ購入シ若ハ郵便貯金其ノ他確實ノ方法ニヨリ利殖ヲ圖リ又土地ハ田畠ハ貸付森林其ノ他ハ概ね植樹ヲナシ以テ將來ノ利益ヲ圖レリ

教育資金

教育資金總計十七萬七千二十四圓八十九錢八厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ二千六百七十七圓三錢ヲ增加シタリ而シテ本年度貸付ニ係ル金額ハ五萬五千百圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ二千圓ヲ減少シ本年度戻入レタル金額ハ五萬五千四圓五十錢ナリ又大禮記念教育參考館費ニ二千九百九十九圓八十七錢小學校衛

生費トシテ四千七百二十三圓六十二錢ヲ支出セリ内醫員費千八百四十三圓六十二錢小學校教員疾病療治料二千八百八十圓此ノ給與人員十四人ナリ又臨時部ニ於テ小學教育及學齡兒童就學獎勵費トシテ四千五百三十一圓二十九錢ヲ支出セリ其ノ内譯ハ就就獎勵費補助千八百四十七圓、茨城縣教員互助會補助千圓、小學校聯合教授法研究會補助百七十五圓、郡教育會補助七十五圓、文部省選獎者並本縣表彰者賞與金四百圓、其ノ他諸雜費千三十四圓二十九錢ナリ

市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金總計十三萬四千百四十五圓六十八錢ニシテ年功加俸支給金額六萬五千五圓六十四錢、特別加俸支給金額四千二百十九圓十三錢ナリ其ノ差引殘額六萬四千九百二十圓九十一錢ハ翌年度ニ繰越シ公債證書勸業債券ノ外ハ銀行ニ預ケ置ケリ其ノ給與シタル狀況ハ次ノ如シ
年功加俸ヲ支給シタル本科正教員千八百五十二人、專科正教員百五十人、准教員二百十三人、加俸令第七條第一項ニ依リ特別加俸ヲ支給シタルモノ十七人、同條第二項ニ依ル者四十六人、同條第三項ニ依ル者百二十人ナリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金ニ關スル件

本法施行ノ結果管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ總額二十四萬千八百八十三圓三十四錢ニシテ其ノ大部分ハ教員ノ増俸ニ充テ同時ニ小學校教員ノ俸給額ヲ改正シタルヲ以テ從來ニ比シ優遇スルコトヲ得タルト共ニ幾分ナ以テ校舎及器具器械等設備ノ改善ヲ圖リ尙住民負擔ノ輕減ヲナシ得タル町村アリ其ノ支途金額ヲ舉クレハ左ノ如シ

種別	市	町	村
教員ノ増俸ニ充當シタル金額	円 5,419,260		円 193,831,320
教育施設ノ改善ニ充當シタル金額	—		27,371,830
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—		14,825,600
他ノ経費ニ充當シタル金額	—		435,330
計	円 5,419,260		円 236,464,080

公學費及公學資產增減事由

公 學 費

(一) 縣ニ屬スルモノ

支出總額ヲ前年度ニ比シ六萬七千五百六十二圓增加シタルハ借地借家費、圖書器

械標本費、器具費、修繕費等ニ於テ減シタルモ學校長俸給ヲ初メ他ノ費目ニ於テ増額シタルニ依ル而シテ教員及書記俸給ニ於テ増額シタルハ増俸及臨時手當ヲ支給シ雜給生徒給費消耗品費其ノ他ノ諸費等ノ増額ハ物價騰貴ニ因シ新營費ノ増額ハ高等女學校新築師範學校中學校等ノ理化學實驗室建築、農學校ニ於ケル實習地購入等アリタル爲ナリ又圖書器械標本費器具費等ノ前年ヨリ減シタルハ師範學校中學校ニ於テ理化學ニ關スル器械器具等ノ購入少ナキト教育參考館ニ於テ器具ノ購入少ナキニ因ル尙修繕費ノ少ナキハ師範學校及中學校等ニ於ケル修繕費ノ減シタル爲ナリ

收入總額ヲ前年ニ比シ二千四百一圓增加シタルハ國庫補助ニ於テ減シタルモ授業料雜收入等ニ於テ増額シタルニ依ル而シテ授業料ノ增加シタルハ高等女學校ノ生徒定員ヲ增加シタルト農學校ニ新ニ養蠶科ヲ置キタル爲ニシテ國庫補助ノ減シタルハ前年ニ於テ師範學校中學校ニ對シ理化學實驗ニ係ル臨時補助アリシモ本年度ニ於テハ此ノ種ノ補助ノナキ爲ナリ

(二) 郡ニ屬スルモノ

支出總額ヲ前年度ニ比シ八千七百六圓減シタルハ學校長俸給以下各費目ニ於テ增加シタルモ新營費及修繕費ニ於テ減シタルニ依ル而シテ教員俸給其ノ他ニ於テ増額シタルハ主トシテ町村組合立農學校ヲ郡立ニ變更シタルモノノアルト增俸及臨時手當ヲ支給シタルニ因リ尙物價騰貴ニ因スルモノ勘ナカラス新營費ノ減シタルハ前年度ニ於テ真壁郡立實科高等女學校ノ新築アリタル爲ニシテ修繕費ノ減シタルハ修繕ノ箇所少ナキ爲ナリ

收入總額ヲ前年ニ比シ五千二百二十八圓增加シタルハ町村組合立農學校ヲ郡立ニ變更シタル爲授業料、雜收入、縣國庫補助等ニ於テ增加シタルト本年度ニ於テ寄附金ノアリタルニ因ルモノナリ

(三) 市ニ屬スルモノ

支出總額ヲ前年度ニ比シ一萬二百八十一圓增加シタルハ市町村義務教育費國庫交付金アリタル爲教員ニ對スル増俸並臨時手當ノ支給、校舍ノ増築等ヲナシ又其ノ他ノ各費目ニ於テ物價騰貴ノ爲自然増額シタルニ因ルモノナリ收入總額ニ於テ前年ニ比シ五千四百七十四圓增加シタルハ主トシテ市町村義務教育費國庫交付金アリタル爲ナリ

(四) 町村ニ屬スルモノ

支出總額ヲ前年度ニ比シ五十五萬五千五百二十六圓增加シタルハ市町村義務教育費國庫交付金アリタル爲教員ニ對スル増俸並臨時手當ノ支給校舍ノ新築増築改築器械等ノ購入等諸設備ノ改善ヲナシ又學校醫ヲ増置シ學校衛生ノ進歩發達ヲ期シタルトニ因リ尙其ノ他ノ諸費、消耗品費等諸費目ニ於テ增加シタルハ物價騰貴ニ因ル自然的膨張ナリ

收入總額ヲ前年度ニ比シ二十八萬六千六百六十三圓增加シタルハ郡費補助ニ於

テ減シタルモ國庫補助寄附金其ノ他ニ於テ増加アリタルニ依ル而シテ國庫補助ニ於テ増加シタルハ市町村義務教育費國庫交付金アリタル爲メニシテ寄附金ノ増加シタルハ學校建築ニ對スル寄附金多ク其ノ他ハ生徒兒童等ノ増加ニ依ル自然增收ナリ郡費補助ニ於テ減シタルハ町村組合立乙種程度實業學校ノ從來郡費補助ヲ受ケ居リシモノカ郡立ニ變更シタル爲ナリ

公 學 資 產

(一) 縣ニ屬スルモノ

前年度ニ比シ土地坪數附屬地ニ於テ五千二百七十五坪増シタルハ農學校ニ於テ實習地ヲ購入シタルニ依リ建物教場坪數ノ増加シタルハ水戸、土浦、下妻ノ各中學校ニ於テ理化學實驗室ヲ增築シタルニヨル同其ノ他ニ於テ減シタルハ丙號表ニ備考記載ノ通水戸高等女學校ニ於テ改築ノ爲破壞シタルト前年ノ調査ニ誤リアリタル旨申出アリタルニ依ルモノナリ土地價額以下前年ヨリ増額シタルハ時價ノ昂騰シタルニ依リ基本財產金額ノ増額シタルハ同收入ヲ蓄積シタル爲ナリ

(二) 郡ニ屬スルモノ

土地坪數敷地ニ於テ千八十六坪建物坪數教場ニ於テ百九十九坪其ノ他ニ於テ七十六坪前年度ニ比シ増加シタルハ町村組合立乙種程度農學校ノ郡立ニ變更シタル爲ナリ土地價額以下増額シタルハ全上ノ理由ト時價ノ昂騰シタル爲ナリ

(三) 市ニ屬スルモノ

前年度ニ比シ土地坪數ニ於テハ増減ナキモ建物坪數教場ニ於テ三十一坪 加シタルハ增築シタルニヨリ其他土地價額以下増額シタルハ時價ノ騰貴シタル爲ナリ又基本財產金額ニ於テ九百十六圓増額シタルハ基本財產ヨリ生スル收入百七十二圓ヲ積立テタルト株券ノ時價昂騰シタル爲ナリ

積立金ノ減シタルハ丙號表ニ備考記載ノ通り繰入使用シタルモノナリ

(四) 町村ニ屬スルモノ

前年度ニ比シ土地坪數ニ於テ敷地及附屬地ヲ合セ二萬一坪建物坪數ニ於テ教場其ノ他ヲ合セ二千七百五十三坪増加シタルハ學校兒童ノ増加ニ伴ヒ校地ノ擴張校舎ノ新築増築改築等ヲナシ又土地價額敷地及附屬地ヲ合セ十九萬四千八百二十六圓建物價額七十萬二千九百七十四圓圖書價額一萬三千七百七十圓器械標本價額二萬三千七百六圓器具價額三萬七千十五圓等著シク増加シタルハ土地ノ購入、建物ノ新築、増築改築教具校具、參考書等ヲ購入シタルト時價ノ騰貴シタルニ因ル

基本財產金額ニ於テ前年ニ比シ三萬二千百七十一圓ヲ増加シタルハ學校建築等ノ爲使用シタル町村アリト雖基本財產ヨリ生スル收入及寄附金等ヲ蓄積シタルニ因ル又田畠及其ノ他ノ増加シタルハ新ニ購入シタル町村アルニ依リ森林、原野ノ坪數減シケルハ賣却シテ基本財產金額トシテ利殖ヲ圖リタル町村或ハ學校建

築費ニ充當シタル町村等アリタルニヨル而シテ坪數減少シタルニ價額ノ増加シタルハ時價ノ勝貴シタルニ因ルモノナリ
積立金ノ増加シタルハ學校建築ノ目的ナ以テ積立ツル町村多キニ至リタル爲ナリ

市町村立小學校公立實業補習學校 教員及幼稚園保姆恩給基金並恩給

恩給基金總額十一萬八千三百二十五圓三錢三厘ニシテ之ヲ前年度ニ比シ一萬十二圓九十七錢増加シタルハ市町村納金ノ多カリシト公債證書ヲ購入シタルニヨル恩給ニ關スル收入ハ五萬七千七百六十圓十六錢二厘ニシテ前年ニ比シ八千七百二十七圓九十五錢ヲ増加ス其ノ事由ハ恩給基金利子其ノ他ノ收入多カリシニ依ル又恩給ニ關スル支出ハ五萬二千四百一圓三十錢人員五百六十七人ニシテ金額ニ於テ五千六百三十六圓七十八錢人員ニ於テ八十三人ヲ増加セリ之退隱料ニ於テ二千六百七十三圓五十八錢人員三十二人扶助料ニ於テ四百六十三圓七十錢人員十六人扶助金ニ於テ六百六十一圓二十五錢人員八人退職給與金ニ於テ千八百三十九圓二十五錢人員二十七人等支給者ノ多カリシ結果ニ依ルモノナリ

府縣立師範學校公立學校及公立 圖書館職員國庫納金公費支出

國庫納金總額三千八百五十圓六十八錢ニシテ前年度ニ比シ百六十八圓二十七錢ヲ増加シタルハ正教員ノ増加ト俸給ノ増額トニ依ル又公費支出ハ千五百五十圓八十一錢ニシテ前年度ニ比シ人員ニ於テハ三人減シタルモ金額ニ於テ六十九圓八十一錢ヲ増加シタルハ公立實業學校ニ於テハ減シタルモ公立中學校ニ於テ増加シタルニ依ルモノナリ